

市事研 会報 おおさか 翔

令和2年10月22日 発行 大阪市立小中学校事務研究会 会長 小山 純大 編集 同事務局

ホームページアドレス：<http://www.y1.x312v.smilestart.ne.jp/>

今号のピックス

- 1ページ ・第27回研究大会について ・会長コラム
- 2ページ ・研修部PC講座 ・アンケートのお願い ・編集後記



第27回大阪市立小中学校事務研究大会について

大阪市立小中学校事務研究会

副会長 竹口 知秀

はじめに、今般の新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになられた方々、及びご遺族の皆様にご哀悼の意を表するとともに、感染された方々やそのご家族に対して、心よりお見舞い申しあげます。

例年であれば、2学期は遠足や運動会、作品展などの大きな行事が行われる時期であります。今年は学校行事も変更を余儀なくされ、会員の皆様におかれましても何かと慌ただしくされているのではないのでしょうか。

さて、令和2年度の大阪市立小中学校事務研究大会の開催に向けて、熟議を重ねてまいりましたが、新型コロナウイルス感染症の終息が見えない現況を鑑み、感染症予防及び拡大防止の観点から、会員の皆様の健康と安全面を最優先すべきであると判断し、別途ご案内のとおり、やむなく中止を決定した次第です。

今年度、市事研では、新たな時代に対応した学校事務職員の果たすべき役割を探究し、より高度で信頼ある確かな学校事務の実現と学校教育の充実に向け、今年度の研究課題を「学校力向上の一翼を担う」とし、活動の重点を「次代の学校事務の確立に向けた研究」「信頼に応える確かな学校事務の実践」「組織力の向上」としました。

研究部では、学校における働き方改革が推進されるなか、学校事務職員が総務・財務などにおける専門性を最大限に発揮し、これまで以上に積極的・主体的に学校経営へ参画するためには、どういった役割を果たすべきなのかについて研究を進めているところです。日々、増大していく業務のなかで、より適正かつ効率的に業務を行うために、学校内の業務改善を図ることでみえてくる効果や課題等について、実践を行うなかで考察を進めてきました。また、新型コロナウイルス感染症によりさまざまな活動等が制限される一方で、それにより新たな課題等もみえてきました。今年度につきましては、会員の皆様とともに、これからの学校事務のあり方について考える機会を設けるべく、現時点での研究報告を「令和2年度 研究集録」として発行する予定です。

今年度は例年と異なる対応を取らざるを得ない状況ではありますが、会員の皆様におかれましては、事情をご賢察のうえ、引き続き本研究会活動へのご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。最後になりましたが、一日も早くこの事態が終息し、平穏な日常を取り戻せるよう心から願っております。

会長コラム Vol.2 スケジュール管理

皆さんは、右の日程(期限)のような場合、どの日を基準にして管理しますか。22日?27日?

30日?それとも…どの管理方法が自分に合っているのかといったことも探りながら、日程に追い回されることなく、余裕をもって日々の業務を行いたいものですね。ポチポチいきましょう(^)/

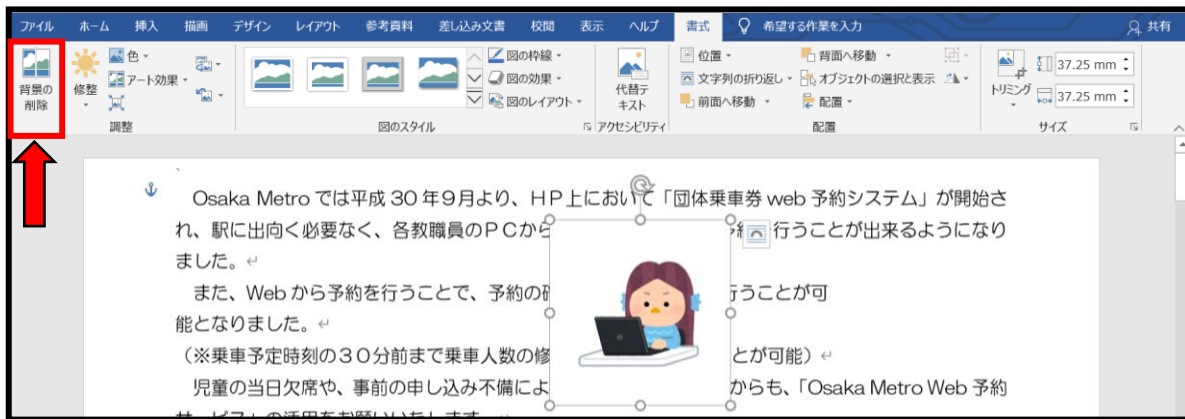
文書通知日：令和2年10月22日(木)

申請期間：令和2年10月27日(火)～10月30日(金)

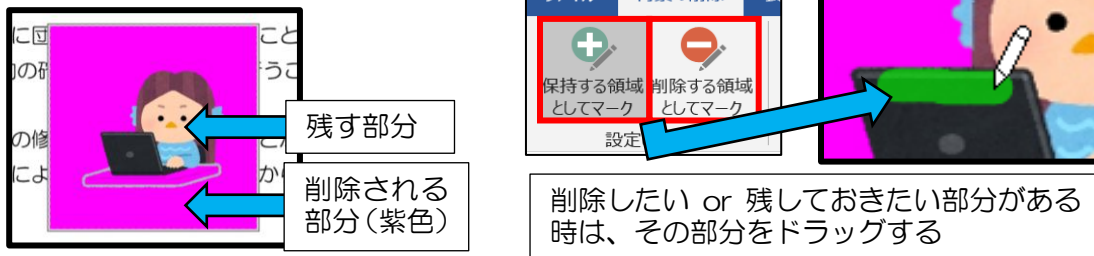
研修部 PC 講座 ～《Vol.13》画像背景の削除～

Word や Excel で画像を挿入する際、背景が邪魔になってしまい、画像のサイズを小さくせざるを得なかったことはありませんか？Word や Excel の機能である「背景の削除」を利用することで、背景以外の画像で unnecessary 部分を手軽に削除することができます。

- ① 最初に、背景を削除したい画像を選択した状態で、図ツールの書式タブから、左端にある「背景の削除」をクリックします。



- ② クリックすると画像の一部が紫色に変わります。このとき紫色は削除する部分、元の色の部分は残す部分となります。削除したい部分が紫色に変わっていない場合は、「削除する領域としてマーク」をクリックして削除したい部分をドラッグし、紫色に変われば完了です。残したい部分が紫色になっている場合は、「保持する領域としてマーク」をクリックし、残したい部分をドラッグします。



- ③ 領域の選択が終了すれば、「変更を保持」をクリックして終了です。



～パソコン研修会アンケートご協力のご願い～

自習型のパソコン研修会はいかがでしたでしょうか。来年度もより良い研修会を開催したいと思いますので、同封のアンケートにご協力をお願いいたします。

締切：11月20日(金)【必着】 送付先：鶴見区 今津中学校 陣出あて

編集後記 総会、パソコン研修会に続き、研究大会についても苦渋の決断となりました。会員の皆様に少しでも研究の成果を還元できるよう、研究集録の発行に向けて尽力したいと思います。(F)